

令和4年度「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」
アソシエイト校における取組について

1. アソシエイト校について

類型名	地域魅力化型
学校名	愛知県立田口高等学校
管理機関名	愛知県教育委員会

2. 令和4年度における取組について、該当する欄に○を記入してください。

	参画した	参画していない
2023/3/17 開催 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」 成果検証報告会（視聴のみ参画も可）		○
2023/1/17 開催 「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」全国サミット （視聴のみ参画も可）	○	
【プロフェッショナル型のみ回答】 2022/10/15、16 開催 全国産業教育フェア青森大会		

3. 問2以外で実施した地域との協働による学習活動等の取組について、以下の回答欄に記入してください。また、記載いただいた内容について、参考となる資料があれば提出してください。（様式任意）

<p>総合的な探究の時間「田高羅針盤（Denkou-compass）の中で、第2学年が地域の課題解決に向けた探究的な学習を実施した。生徒24名を産業班、観光班、生活班に分け、調査、意見交換から発表までを実施した。特に、意見交換では、地元郡内の3町村から地域振興の担当者を講師として招聘し、指導・助言を受けるなど、地域の自治体との連携体制を生かす取組となった。また、発表会には、地元郡内の3町村だけでなく愛知県東部の東三河広域連合担当職員も招き、内容ごとに6班に分かれて提案を発表した。この学習を通じて、生徒は地域の課題に対する理解を深めるとともに、調査や具体的な政策立案に向けた提案や検討等を通じて地域振興への意欲を高めるなど成果が得られた。</p>

5. 管理機関担当者

担当課	高等学校教育課	TEL	052-954-6787
氏名	鶴見泰文	FAX	052-961-4864
職名	課長補佐	E-mail	hirofumi_tsurumi@pref.aichi.lg.jp

奥三河活性化 田口高生が考える



地域活性化策を発表する生徒たち＝設楽町の田口高で

設楽町村職員らへアイディア披露

設楽町の田口高校二年生が九日、同町や豊根村、東三河広域連合の担当職員らを招き、地域活性化に向け

た提案を発表した。豊かな森林や水を生かしたイベントや施設、物品展開など、関連する企業や団体へのイ

ンタビューを基に練った具
体案を挙げた。

生徒二十四人が九月以降、総合学習として検討してきた。この日は六班に分かれ、五感で自然を感じられる仕組みの観光客向け施設や、新たに「sungson(サンソン)」ブランドをつくっての木工品展開など、効果や課題を交えて発表した。

地元の関谷醸造との連携を挙げた班は、日本酒の試飲・販売行事を通じたおいしい水のPRを発案。イノシシやシカ肉のおつまみ提供やヒノキのます作り体験も組み合わせ、地域色を打ち出す内容に仕上げた。

地元産材を使った食器作りを提案した班の伊藤竜矢さん(二)は「地域の魅力をどうやって伝えるかに苦労した。できる限りの発表はできた」と胸を張っていた。

(鈴木智重)

森と水の魅力伝える発想多彩

設案ダム南側建設 山村都市交流施設の活用へ

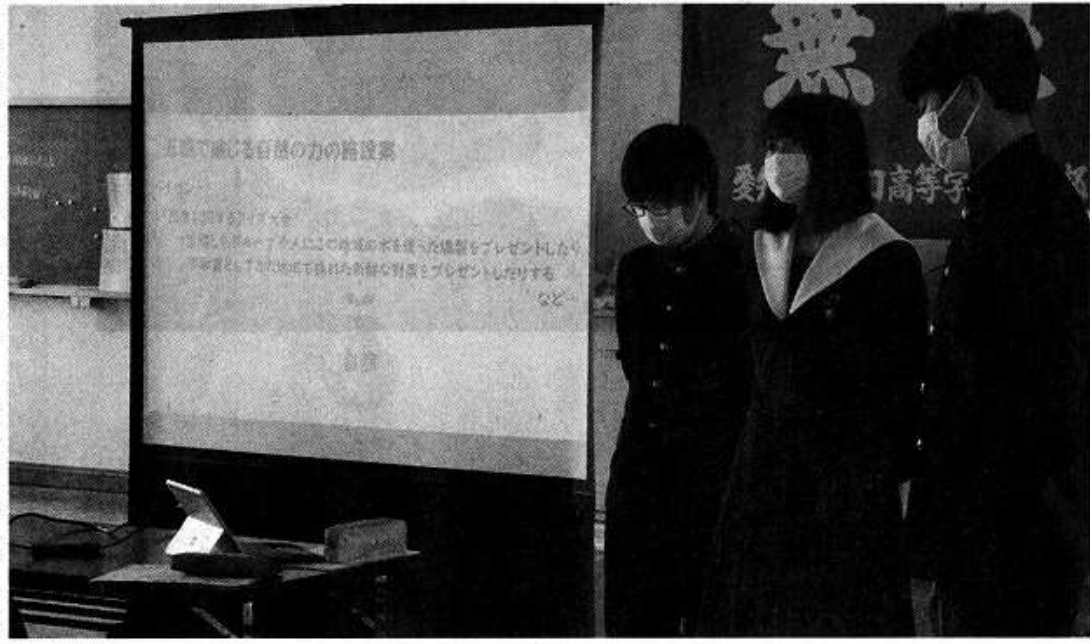
設案町の県立田口高校2年生による「地域課題解決学習」の発表会が9日あった。町内の設案ダム建設用地に整備される「山村都市交流拠点施設」の活用案を出した。

山村都市交流拠点施設は東三河広域連合が整備する。豊橋市など豊川(とよがわ)流域5市が2008年度に設案町と整備を約束した。ダム湖南側の用地約6畝に建設する。供用開始はダム工事の完了に合わせて33年度とした。

田口高校は広域連合の要請を受けて活用案を考えた。24人が6班に分かれて「総合的な探究」授業で活動した。

施設全般を考えた班は「水と木の視聴覚センタ―」として水がどのような循環するのか可視化するほか、水族館を造り、遊び場では自然に関するクイズ大会を開催する案を示した。現金を木のメダルに交換し、施設

広域連合の要請で田口高生徒が発表



発表する生徒＝田口高校で

内で使えるアイデアもあった。ダム工事や地元漁協への聞き取りを通して「大人だけでなく子どもにも自然の魅力と大切さを伝えられる」と述べた。

他の班は、森と水の魅力を伝える川遊び体験施設の建設▽「山村ブランド」をつくって木工体験や料理イベントの開催▽北設案郡内の木材を使った食器の販売▽関谷醸造

と連携した酒試飲のイベント開催▽施設周辺部でのキャンプやマウンテンバイク教室開催―を挙げた。

広域連合の担当者は「生徒のアイデアを参考にします」と話した。

【安藤聡】